

試合責任者マニュアル

- ◎ 担当責任者は、事前に本文を精読し、間違いのないように勤める。
- ◎ 大会担当責任者および担当チームは、1時間以上前には到着し、準備に入る。
以降の責任者は、前試合の終了時には到着し、引継ぎを行う。
(倉庫鍵については、事前に大会責任者に確認しておく事)

準備

1. 久米川G倉庫より、書類・ベース・メジャー・大会表示横断幕の搬出
(会場場所により石灰・ラインカー)
※大会責任者は久米川グラウンド以外の試合会場の場合は、書類を倉庫より搬出、以外の用具類は**大会会場チーム用具**または試合該当チームに提供をお願いする。
※大会責任者は運動公園グラウンドの場合は、倉庫よりA、B面に必要用具を運搬する
※グラウンドの整備および準備は、**大会担当チームで行う。**
2. 担当審判員及び試合結果表への担当氏名の記入。
3. 第1試合開始1時間前選手・指導者の入場
健康確認シートで入場者確認、手のアルコール消毒
4. 第1試合開始45分前 メンバー表提出(3部 本部・審判・対戦相手)
◆登録書とメンバー表に違いがあった場合
 - ・単純ミス(背番号、守備位置の書き違い等)であれば修正させる。
 - ・未登録選手が記入されていた場合は、試合には出場できない旨を通達する。
(ベンチ入りについては、選手の育成を勘案し、対戦チームの了承があれば野球のできる服装で入っても良いこととする)
5. 第1試合開始30分前 監督、主将、審判、本部で試合確認を行う
※久米川G以外の球場の場合は、ローカルルールの確認(審判員により双方の監督にも周知徹底)
※用具確認は審判員が試合開始前に行う。
6. 次試合開始1時間または5回終了後次試合チームの入場
7. 次試合開始45分前 4 を行う
8. 次試合開始30分前 5 を行う

試 合

1. シートロックは後攻チームより5分以内。

※1 久米川G4 試合の場合は第1試合のみ、場合によっては行わない時もある。

2. 試合前の礼は、選手がホームプレートに整列したときに審判の号令に従い行う。このときG責任者、ベンチ入り指導者も立ち上がって礼を行う。終了時も同様とする。以上で試合上の全ての挨拶は終了するので、それ以外の答礼等を行わない。

(選手が整列した際の挨拶義務を徹底させる)

※コロナ感染要望対策により選手はベンチ前にて行う（コロナ感染予防の特例処置）

3. 時間の確認と記入

※プレイボールの時間、ゲーム終了時間は、グラウンド責任者が確認を行う。

※時間制限特別ルールがあるため、試合終了時には主審に通告する。

4. スコア等の記入

※スコアボードに点数の記入

※試合記録表にはスコア以外にも、特記事項があれば記入する。

(コールドゲーム、特別延長戦、他、特に気が付いたこと)

5. トラブルについて

※ルール上の問題は基本的には審判員の協議によって解決が原則。収まらない場合、判断に疑問がある場合は審判部長、大会担当責任審判員に連絡をとり確認する。

※試合以外の問題点はグラウンド責任者によって解決する。収まらない場合は大会責任理事に連絡を取り確認する。

終了後

1. 引継ぎまたは片付け

※グラウンド整備は必ず勝利チームが行う。

※一日に同一グラウンドで複数のグラウンド責任者がある場合には、前後担当間で書類の引継ぎをする。

2. **グラウンド責任者は、試合結果を連盟メールで報告すること。**

※ごみは倉庫に残さないで、必ず持ち帰ること。

※書類は、1. 登録書 2. 大会要綱 3. 試合記録表等

※用具は丁寧に扱い、倉庫は整理整頓に心がける。

3. **大会責任理事は久米川G以外で行った場合、当日、書類、用具を久米川G倉庫に持ち帰り倉庫備え付けの収納箱に返還する。**